

「伊豆高原へ入居される方の多くが、この自然に魅せられたと聞きます。私たちもその中の一人です。」と笑顔で話されるご主人様。奥様は、「私一人になったらホームへ入居しようと、主人に内緒で思っていたんですよ。」と話されます。ご主人様が70歳の時に脳梗塞を患いました。幸い後遺症はほとんどなく回復されましたが、この時に将来に不安を感じたそうです。「これから色々なホームを見学して、自分たちに合った所を探そう」と決めたそうです。ご夫婦の共通の思いは、『終の棲家は自然が豊かな場所』。初めに伊豆高原（ゆうゆうの里）へ体験入居に行ってみようという行動されました。そこで出会った里の自然に魅了され「ここに決めた！」とすぐに思ったそうです。入居され間もなく4年、今も里の自然を大いに楽しんでいます。



居室前にて

【それぞれの趣味を楽しむ】

ご主人様は里内の桜や野草を日々写真に収め、欲しいという方には配られているそうです。「伊豆高原の自然をもっと楽しみたい」との思いから、里内サークル『自然を楽しむ会』に参加されるようになりました。里の中には珍しい野草が沢山あり、「これを楽しまないのはもったいない」と、定期的に里内を会の皆さんと散策されています。



フデリンドウ発見！

「昨年の春にフデリンドウを見つけ感動！踏まれないように看板を立てて保護したんですよ。」と、話されます。

また、11月の文化祭には会の皆さんと1年越しに完成させた里内桜マップを披露しました。奥様も協力され、ご夫婦で里内を歩き、桜の本数と種類を見て回ったそうです。「私は桜を写真に収める係、妻が書記係。一本一本を里内地図に書き込みました。」とうれしそうに話されます。完成したMAPはご入居者だけではなく、職員からもとても好評でした。

奥様は『きつつきの会（木彫り）』に参加され、文化祭には毎年出品をされています。今年も文化祭に向け、早くも作品に取りかかっているそうです。今手掛けているのはクリスマスツリーをイメージした壁飾り。文化祭で拝見できるのが今から楽しみです。

また、以前から裁縫をされていた事もあり、最近では着なくなった洋服のリフォームを始められたとのこと。最初の作品は、洋裁学校で先生をされていたご入居者の指導の元、ご主人様のズボンをご自身のベストにリメイクされたそうです。それぞれの趣味を楽しんでいるようです。

今年の文化祭に
出品予定ですご主人様のズボン
だったとは思えません

【これからの目標】

伊豆高原へ入居してからは野草に心魅かれ、日々野草を探して一日一回はご夫婦で里内外を散歩されるそうです。「これから沢山の草木を写真に収め、樹木図鑑と植物図鑑を元気なうちに完成させるんだ」と井出様。「里の自然をご入居者と施設が一緒になって、大切にしていけるように頑張りたい」と話されるお二人の目の輝きと笑顔がとても素敵でした。